

平成29年度事業報告（概況）

昨年の国内旅行については九州北部豪雨や度重なる台風の上陸など、多くの自然災害の発生や異常気象による影響を受けたが、後半、景気回復基調により堅調に推移した。また欧州ではテロが頻発したが、海外旅行者数も1800万人に迫る勢いであった。

一方、訪日外国人旅行者数は6年連続で増加し前年比19.3%増の2869万人とし、過去最高となった。このトレンドを好機ととらえ、協会ではインバウンドスタッフの技能を客観的に判断できる検定制度の立ち上げに取り組んできた。また、インバウンドの実務に則した入門書の発行にともない観光専門学校等関係先への利用促進活動も行った。また、観光庁の支援のもと、インバウンドセミナーを開催したところ、多くの出席者から現況や課題がよく理解でき、継続的に実施して欲しいとの声が届いた。

海外旅行における安心・安全をより一層確保するために、外務省からの要請を受けJATAと共催で新年早々、「添乗員のための海外安全対策セミナー」を外務省国際会議室で開催した。添乗業務中で出席できない人達のために2回実施したが、引き続き外務省に継続的支援を依頼している。専門添乗員の質の担保が問われる中、平成8年に開設した「添乗員能力資格認定試験」を全国8か所で実施した。原則として全添乗員に受験させる方針を打ち出した会員会社の意向により、特に総合及び国内二級の受験者が大幅に増加した。

協会にとって大きな事業の一つとして、昨年も「ツーリズム EXPO ジャパン」のステージでツアー・コンダクター・オブ・ザ・イヤー2017の授賞式及び、受賞者によるパネルディスカッションを行った。

近年、旅行会社々員の受講が多い「旅程管理研修」のテキストの見直し作業を行うための小委員会を立ち上げ協議を重ね改訂版の発行を目指した。

厚生労働省からの受託事業として「業界検定スタートアップ支援」のための専門委員会および作業部会を設置し、インバウンド業務の試験問題の作成や試行試験を実施した。また、「優良派遣事業者」及び「派遣元責任者講習会」も頻繁に開催した。

昨年好評だった、就活中の学生と現役の添乗員が、お茶を飲みながら自由に話し合える「ツアコンカフェ」を事務局内で開催し、添乗のやり甲斐や職業としての魅力等をアピールした。

従来は登録制でも一定数の応募者が見込まれたが、特にオンとオフの季節波動の大きい添乗業務については募集しても高齢者しか関心を示さず雇用形態の変更や処遇の改善・派遣法規制による研修の実施など、会員各社は環境整備を余儀なくされ、対応に苦慮した一年となった。

I. 組織活動関係

1、総会

定款第 16 条の規定に基づき、平成 29 年 3 月 22 日(水)メルパルク東京において第 31 回通常総会を開催した。

(1) 提出議案

第 1 号議案：平成 28 年度事業報告及び収支決算報告について

第 2 号議案：平成 29 年度事業計画案及び収支予算について

第 3 号議案：平成 29 年度・30 年度役員選任について

第 4 号議案：顧問の就任について

(2) 出席者数

平成 29 年 3 月 22 日現在、正会員 44 社、うち出席正会員 28 社、委任状提出正会員 16 社、合計 44 社

2、理事会

定款第 35 条の規定に基づく平成 29 年度の理事会は 3 回開催され、各議案について検討審議が行われた。

(1) 第 131 回理事会

日時：平成 29 年 2 月 17 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 第 31 回通常総会提出議案について

2 号議案 平成 29 年度・30 年度専門委員会委員について

3 号議案 TCSA 添乗員表彰について

(2) 第 132 回理事会

日時：書面持ち回り

場所：書面持ち回り

議題：1 号議案 平成 29 年度・30 年度理事候補者について

(3) 第 133 回理事会

日時：平成 29 年 3 月 22 日（水）15 時 15 分～15 時 45 分

場所：メルパルク TOKYO 楓の間

議題：1 号議案 会長・副会長の選任について

(4) 第 134 回理事会

日時：平成 29 年 9 月 12 日（火）15 時 00 分～16 時 30 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 インパウンド業務検定について

2 号議案 平成 29 年度事業計画・収支状況中間報告（1 月～7 月）

3、地区協議会

北海道、関東、中部、関西、九州各地区の会員で構成する「地区協議会」を各1回開催した。地区協議会では、会員との話し合いに主力をおき、会員が直面する課題、TCSAへの要望・提案事項等について意見交換を行った。

地 区	日	参加会員数	議 題
北海道	平成 29 年 5 月 10 日(水)	10社	①TCSA に対する要望について ②派遣法の改正について ③インバウンド業務検定(仮)について
関 東	平成 29 年 7 月 26 日(水)	23社	
中 部	平成 29 年 7 月 13 日(木)	11社	
関 西	平成 29 年 5 月 24 日(水)	14社	
九 州	平成 29 年 6 月 7 日(水)	13社	

II. 運営幹事会

運営幹事会は、2月、5月、9月、12月年間合計4回開催した。人材育成、コンプライアンス推進、広報イベントの各委員会及び理事会の報告や現在会員会社が最も緊急に解決しなくてはならない課題について議論された。

具体的な内容としては、インバウンド業務検定制度の進捗確認、添乗員職業賠償責任保険の開発、海外安全対策セミナーの実施、派遣料金交渉に向けた書面の作成等についての検討を行った。

III. 人材育成委員会

本年度の人材育成委員会は、2月、4月、7月、11月の計4回開催した。例年実施している「ブラッシュアップ研修 (TCSA 主催)」及び「レベルアップ研修 (TCSA・JATA 共催)」の内容の検討、添乗員能力資格認定試験実施方針の検討、旅程管理研修テキスト改正、インバウンドセミナー実施に関する検討等を行った。

1、基礎研修及び旅程管理研修

基礎研修 eラーニング受講者数は、個人受講者は計画を若干下回ったが、正会員受講者は計画を上回り、合計で計画比 132.0%であった。

旅程管理研修では、国内研修は総計 1,047 名 (計画比：122.5%、前年比：109.1%)、総合研修は総計 287 名 (計画比：151.1%、前年比：120.1) でそれぞれ前年実績及び計画共に上回る結果となった。東京及び大阪地区は定期開催とし、その他地区については出張講座で実施した。

(1) 基礎研修 (eラーニング)

	平成 29 年度計画	平成 29 年度実績	計画比
個人受講者	40 名	34 名	85.0%
正会員受講者	85 名	131 名	154.1%
計	125 名	165 名	132.0%

(2) 国内研修

地区	新規受講			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	316名	340名	92.9%	12名	5名	240.0%
大阪	135名	130名	103.8%	6名	5名	120.0%
その他	565名	370名	152.7%	13名	5名	260.0%
計	1,016名	840名	120.9%	31名	15名	206.7%
合計	1,047名 (前年比109.1%、計画比122.5%)					

(3) 総合研修

地区	新規受講			国内免除			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	92名	70名	131.4%	38名	30名	126.7%	0名	5名	—
大阪	54名	30名	180.0%	17名	30名	56.7%	0名	0名	—
その他	20名	10名	200.0%	66名	15名	440.0%	0名	0名	—
計	166名	110名	150.9%	121名	75名	161.3%	0名	5名	—
合計	287名 (前年比120.1%、計画比151.1%)								

2、研鑽研修

(1) レベルアップ研修

JATA との共同開催による旅行会社社員添乗員との合同参加の「添乗業務レベルアップ研修」を本年度も2月及び3月に東京及び大阪で実施した。

テーマについては、TCSA 設定テーマ「添乗員に必要な約款の正しい運用とクレーム対応」、「添乗員のための世界三大宗教と建築・美術の知識」、JATA 設定テーマ「添乗業務の再確認とトラブル対応」で実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
東京	平成30年2月27日(火)	添乗業務の再確認とトラブル対応	34名
	平成30年2月28日(水)	①約款の正しい運用とクレーム対応 ②世界三大宗教と建築・美術の知識	109名
大阪	平成30年2月21日(水)	添乗業務の再確認とトラブル対応	21名
	平成30年2月22日(木)	①約款の正しい運用とクレーム対応 ②世界三大宗教と建築・美術の知識	35名

(2) ブラッシュアップ研修

本年度は札幌・名古屋・福岡地区について、地区連絡協議会主導でテーマ・講師を選定し実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
札幌	平成 29 年 8 月 1 日(火)	普通救命講習	42 名
名古屋	平成 30 年 2 月 13 日(火)	海外添乗員の安全対策&手話講座	61 名
	平成 30 年 2 月 22 日(木)	添乗員が身につけるホスピタリティ&手話講座	61 名
	平成 30 年 2 月 27 日(火)	添乗員が身につけるホスピタリティ&手話講座	57 名
福岡	平成 30 年 8 月 22 日(火)	手話講座	14 名

3、観光産業への派遣スタッフの育成

派遣先からのニーズが増加している旅行会社への内勤派遣スタッフの育成に関し、実施の可能性について委員会で検討を行ったが、PC スキルに関する内容が必要であり、機器や会場準備及び研修日程の設定等、TCSA としての実施は難しいとの判断から実施は見送ることとした。

4、インバウンド業務研修の実施

国のインバウンド施策の内容及び通訳案内士法改正について、TCSA 会員の共有を図るべく、TCSA 会員経営者及び現場責任者等を対象とした「インバウンドセミナー」を12/13に開催し、55名の会員が参加した。講師は観光庁観光資源課太田課長補佐に講演いただいた。

5、添乗員能力資格認定試験の実施

第 22 回となる認定試験を平成 29 年 1 月 23 日に一次試験を実施した。

受験者数は TCSA 会員が添乗員の評価制度に本試験を導入したこともあり、総合計 159 名で昨年を大きく上回る結果となった。

受験実績は以下の通り。

- (1) 総受験者数は 159 名で前年比 496.8% (前々年比 338.2%)。
- (2) 前年に引き続き観光庁後援の下実施した。
- (3) 「1 級認定バッジ」は今年の 1 級認定者にも配布する。

平成 29 年度 (第 22 回) 添乗員能力資格認定試験受験者 () 数値は前年数

区分	一次試験		二次試験		最終合格率	合格者累計
	申込者数	合格者数	申込者数	合格者数		
総合 1 級	10 名(4)	6 名	6 名	- 名	- %	- 名
総合 2 級	45 名(3)	29 名			64.4%	364 名
国内 1 級	15 名(8)	4 名	4 名	- 名	- %	- 名
国内 2 級	71 名(7)	44 名			62.0%	458 名
3 級	18 名(10)	13 名			72.2%	430 名

6、旅程管理研修の「テキスト」、「修了テスト」の見直し

人材育成委員会のワーキンググループとして小委員会を設置し、4月に実施する旅程管理研修からの導入に向け改訂作業を行った。

7、TCSA共済会収支報告

会員数は平成28年度に比べ377名の減であった(2,533名)。支出は昨年より251千円少なく、収支差額は+246,912円であった。

収支計算書は次ページ参照。

平成29年度 TCSA共済会収支計算書
(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

収 入		支 出	
28年度会費収入	4,872,000	給付金	3,080,000
受取利息(証券利息)	84,936	雑費(振込料)	30,048
小 計	4,956,936	小 計	3,110,048
		人件費	927,174
		通信費(電話代含む)	38,914
		賃借料	162,893
		保守料(ネット関係費)	
		水光熱費	7,587
		雑費(消耗品)	
		顧問料	324,000
		福利厚生費	139,408
		小 計	1,599,976
収入計	4,956,936	支出計	4,710,024
		収支差額	246,912
前年度繰越	36,860,465	次年度繰越	37,107,377

平成29年度 給付件数・給付額		
給付内容	件数	給付額
パスポート再取得金	1件	¥15,000
香典代	33件	¥330,000
結婚祝金	21件	¥630,000
出産祝金	20件	¥200,000
入院見舞金	53件	¥1,450,000
海外援助者補助金	0件	¥0
盗難見舞金	4件	¥80,000
災害見舞金	0件	¥0
障害給付金(2級～5級)	1件	¥10,000
死亡弔慰金	2件	¥200,000
香典	2件	¥60,000
能力認定合格祝金	3件	¥9,000
フレッシュアップ研修受講補助金	31件	¥31,000
リゾート・レクリエーション補助金	0件	¥0
退会返戻金	10件	¥65,000
合 計	181件	¥3,080,000

IV. コンプライアンス推進委員会

本年度コンプライアンス推進委員会は、4月、7月、10月、12月の合計4回開催した。

1. 添乗業務における労働時間管理導入状況の把握及び周知徹底

大手旅行会社をはじめとする時間管理導入が進んでいる中、導入状況を委員会開催の都度確認し、最新情報を共有することとした。

2. 障害者差別解消法への対応

法施行後の実態把握を行うため、事例収集を行った。引き続き TCSA 会員に対して事例収集の依頼を行っていくこととした。

3. 添乗派遣に係るコンプライアンスへの対応

平成 27 年の派遣法改正に関し、平成 30 年 9 月末日で「期間制限」が 3 年を迎えることから改めて法改正の内容及び派遣先や派遣元で対応すべき事項について再確認を行うとともに、TCSA 地区連絡会でも周知を図った。

添乗派遣に影響のある労働契約法（無期雇用転換）、残業 100 時間問題等について意見交換を行った。

個人情報保護の観点から、修学旅行添乗で添乗員に渡される旅のしおりの取り扱いについては、修学旅行協会に対して、業務に必要な最小限の情報のみにとどめてもらうよう書面を提出した。

V. 広報イベント委員会

本年度広報イベント委員会は 4 月、6 月、8 月、9 月、12 月の合計 5 回開催した。

1. TCSA NEWS の発行

平成 29 年度は前年同様、3 回発行した（17 ページ参照）。

2. 「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017」及び「パネルディスカッション」の実施

① ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017 の実施

14, 15 ページ参照

② パネルディスカッションの実施

平成 29 年 9 月 22 日（金）に開催した「ツーリズム EXPO ジャパン」業界日のステージで行い、旅行会社、添乗員派遣会社、添乗員、業界関係者約 100 名が参加。

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017 の受賞者に登壇してもらい、「添乗員が同行するツアーの有用性」等をテーマに語ってもらった。

3. 添乗員同行ツアーの優れた点を業界内外にアピールしていく

ツーリズムEXPOジャパンにおいて実施した「パネルディスカッション」で対応した。

テーマ：「ベテラン添乗員が語る－より良い旅作りのために－」

パネリスト：ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017受賞者4名

モデレーター：(株)JTB総合研究所 常務取締役 高松 正人氏

4. ツアコンカフェの開催

昨年に引き続き、添乗業界に興味関心のある大学・専門学校の学生と現役のツアーコンダクターが気軽に話ができる場として「ツアコンカフェ」を開催した。今年は東京で2回、平成29年12月15日と平成30年2月8日にTCSA研修室で開催した。

現役のツアーコンダクターからは自身の体験談や仕事のやりがい等を語ってもらい、学生からは就職に関する相談等、各回30～40名の学生が参加した。

5. 添乗員に係る各種表彰制度

特別永年勤続表彰者、永年勤続表彰者の審査を行い、特別永年7名、永年勤続124名を承認し理事会に付議した結果、原案通り承認され3月の通常総会会員懇談会で表彰式を行うことになった。また、各地域の運輸局長表彰を17名が受賞し、大臣表彰には1名の添乗員が受賞した。

VI. 受託事業関係

1. 派遣元責任者講習会

平成29年度は計51回開催した（昨年と同回数）。受講者数は前年を上回り、合計では2,125名で前年比115.4%、計画比では125.0%であった。

【平成29年度受講実績】

地区	H29 受講人数	前年度 受講人数	H29 計画人数	前年比	計画比
東京	1,986名	1,654名	1,570名	120.1%	126.5%
その他	北海道	41名	33名	124.2%	102.5%
	愛知	—	21名	—	—
	大阪	70名	72名	97.2%	140.0%
	福岡	28名	61名	45.9%	70.0%
合計	2,125名	1,841名	1,700名	115.4%	125.0%

- ・27年度 受講人数 1,476名 講習会事業収入 13,337千円
- ・28年度 受講人数 1,841名 講習会事業収入 16,252千円
- ・29年度 受講人数 1,986名 講習会事業収入 18,773千円

2. 優良派遣事業者認定制度における「審査機関」としての対応

国が一定の基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定する制度として、TCSAは申請のあった事業者を審査する「認定審査機関」として審査業務を昨年に引き続き受託した。

今年度は5社の申請があり、3社の認定を行った。

VII. ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017

今回で12回目を迎えた「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2017」表彰を「ツーリズムEXPOジャパン」のBステージで以下の通り実施した。

1 主 催：“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー” 実行委員会

後 援：国土交通省・観光庁・(一社)日本旅行業協会・(一社)全国旅行業協会・(公社)日本観光振興協会・(一社)日本海外ツアーオペレーター協会・(一社)日本添乗サービス協会

協 賛：サンコー靴(株)・DFS グループリミテッド 協力：(株)トラベルジャーナル

2 選考委員会：

選考委員会	氏 名	役 職
委員長	吉村 作治	早稲田大学名誉教授・エジプト考古学者
委員	黒須 卓	観光庁 観光産業課 参事官
委員	南 砂	読売新聞社 常務取締役
委員	田川 博己	(株)JTB 代表取締役会長・JATA 会長
委員	菊間 潤吾	(株)ワールド航空サービス 代表取締役会長・JATA 副会長
委員	清水 誠	中村学園大学短期大学部 名誉教授
委員	山田 隆英	(一社)日本添乗サービス協会 顧問

3 選考経緯：

- (1) 2017年4月に正会員会社44社及び賛助会員旅行会社13社に候補者の推薦を依頼、5月下旬に応募受付〆切、会員会社9社から14名が推薦された。
- (2) 実行委員会における事前の絞込みは割愛し、候補者全員を最終選考委員会に提出することとした。
- (3) 当該14名分の推薦書類関係資料等を送付の上、全選考委員に書面審査を依頼
- (4) 6月26日に吉村委員長をはじめ全委員出席のもと、最終選考委員会を開催した。選考委員一人あたりの持ち点を決めて、表彰事由、功績、人物像、添乗評価など総合的に協議し、合計獲得点数の上位から受賞者を選考した。

4 受賞者：

賞	受賞者氏名	所属会社	受賞理由
グランプリ 国土交通大臣賞	中田 啓司	㈱エイチ・アイ・エス	添乗歴 22 年、添乗日数 3,900 日のベテラン添乗員。JATA エアスペシャリスト、添乗員能力資格認定 1 級、観光地理 1 級等、旅行関連資格も数多く取得。現役の添乗員でありながら、所属会社店舗においてお客様のコンサルティングやスタッフへのレクチャーを行う「添乗デスク」を担当し、昨年は 628 回、2,607 名のお客様の対応を行った。 添乗で培った経験や知識を活かしてラジオやメディアにも数多く出演し添乗員の職業の魅力付けにも貢献。各種イベントへの添乗員の参加を促し、「添乗」以外の分野での添乗員の活躍できる場を提供することにも貢献。
準グランプリ 観光庁長官賞	大矢 千尋	㈱読売旅行	昨年 5 月、ジャワ島・バリ島 5 日間のツアー最終日、デンパサール 23 時 30 分発ジャカルタ経由で帰国の予定であったが、デンパサール空港の滑走路亀裂により空港閉鎖となった。22 時に再開予定であったため、19 時 30 分には空港に到着するも予定時刻には出発できず、その後出発できるもジャカルタ到着が深夜で日本への乗り継ぎが間に合わず延泊することに。ホテルチェックイン後、航空会社と帰路便の交渉を行うも英語のみの対応であったため、自身のお客様 20 名以外の他の日本人のお客様 56 名の対応も行い全員無事に帰国。その対応にお客様全員から感謝された。
委員長賞	岡崎 篤子	㈱フォーラムジャパン	ツアー中母娘で参加の母親がホテル内で急死するという緊急事態が発生。遺族である娘さんが突然のことで動揺する中、お客様に寄り添った対応で感謝の言葉をいただく。 派遣先からは主催会社、ランドオペレーター、病院、保険会社、ホテル等関係各所に対しても指示・対応が的確であったことで、継続中のツアーの旅程管理やお客様対応等に関する称賛された。特に不幸に遭われたご遺族の心に寄り添い、不安で夜眠れないお客様の傍で付き添った。帰国後も現地に残った遺族と連絡を取り続け、少しでもお客様の気持ちを和らげる努力を続け、後日、当該お客様より主催旅行会社に対しお礼の連絡があり、添乗員の緊急時における対応・心遣いに感謝の言葉をいただいた。
会長賞	稲垣 美穂	㈱J&J ヒューマンソリューションズ	小中高の修学旅行をはじめ富裕層向けパッケージツアー等で 1 年間のスケジュールが埋まってしまう人気添乗員。特に細やかな配慮を必要とされる小学校連合の修学旅行添乗は新人時代から添乗しており、その日数は延べ 700 日を超え、35,000 人以上の児童の思い出作りのお手伝いをしてきた。自身のモットーは「確認の確認」であり、「旅行のしおり」は命と思い熟読し、出発するまでには全て暗記している。更に児童の特徴も把握し、先生方にもその状況を伝え、「安心・安全」は学校行事の実施に努めている。また、毎年この添乗に絞った専門研修の講師も 10 年稲垣添乗員が担当している。

優秀賞 1 名：勝澤正人氏（㈱ツリストエキスパート）

奨励賞 9 名：玉井成美氏（㈱ジャッツ）、清野和華氏（㈱旅行綜研）、

泉田架奈氏（㈱ヒト・コミュニケーションズ）、望月和久氏（㈱J&J ヒューマンソリューションズ）、

橋本崇氏（㈱J&J ヒューマンソリューションズ）、松月猛氏（㈱J&J ヒューマンソリューションズ）、

福田奈奈緒氏（㈱ツリストエキスパート）、林亜子氏（ANA セールス㈱）、

雨川和世氏（㈱エイチ・アイ・エス）

5 表彰式：

平成 29 年 9 月 22 日に、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」の B ステージにおいて、受賞者 4 名に対する表彰式が挙行政され、それぞれ表彰状及び副賞が授与された。

VIII. 総務関係

1、会員関係

- (1) 正会員：正会員数は、平成 29 年度会費納入正会員は 44 社であった。
- (2) 準会員：準会員数は、平成 29 年 12 月 31 日現在 3 名であった。
- (3) 賛助会員：賛助会員数は、平成 29 年 12 月 31 日現在 33 社であった。

2、人事関係

(1) 役員

平成 29 年度は協会役員の改選期であり、132 回理事会で理事候補者として選任の上、3 月 22 日に開催された第 31 回通常総会に付議された結果、原案通り承認され、同時に開催した第 133 回理事会において会長に三橋滋子、副会長に吉岡泰敬が選任された。

なお、承認された役員は次の通りである。

会 長	三橋 滋子 (㈱TEI 代表取締役会長・ANTA 理事)
副会長	吉岡 敬泰 (㈱ツーリストエキスパート 代表取締役社長)
理 事	本保 芳明 (観光庁参与 国連世界観光機関駐日事務所代表)
理 事	古木康太郎 (㈱グローバルユースビューロー 会長)
理 事	座間 久徳 (㈱JTB グローバルマーケティング&トラベル 代表取締役社長)
理 事	有野 一馬 ((一社) 全国旅行業協会 専務理事)
理 事	大畑 貴彦 ((一社) 日本海外ツアーオペレーター協会 会長)
理 事	竹内 一修 (㈱エコーレインターナショナル 代表取締役社長)
理 事	黒田 満之 (㈱ジャッツ 代表取締役社長)
理 事	石井 光彦 (㈱旅行綜研 代表取締役社長)
理 事	伊藤 浩 (㈱トップ・スタッフ 代表取締役社長)
理 事	高橋 直也 (㈱阪急トラベルサポート 取締役)
監 事	前沢 永壽 (マエサワ税理士法人 理事長 税理士)
監 事	藤渕 平和 (㈱エスティーエス 代表取締役社長)

(2) 委員会委員長

平成 29 年度の委員会委員長は、前年同様、次の通りである。

*運営幹事会

委員長 三橋 滋子 (一社)日本添乗サービス協会会長

*人材育成委員会

委員長 槇 光義 (㈱TEI 第一事業部長)

*コンプライアンス推進委員会

委員長 野崎 剛 (株)旅行綜研 東京支店長

*広報イベント委員会

委員長 忽那 裕 (株)エスティーエス 取締役副社長

3、TCSA ニュースの発行

平成 29 年度は、協会機関誌「TCSA NEWS」は下記の 3 号を発刊した。

	OPINION	特集	トップ インタビュー	TCSA レポート
91 号 (6 月 23 日 発行)	添乗員の「仕事の価値」を高める TCSA 副会長 吉岡 敬泰 氏	JATA「アウトバウンド促進協議会」欧州グループに TCSA 参画	(株)日本旅行 代表取締役社長 堀坂 明弘 氏	・インバウンド技能検定 ・添乗あれこれ ・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記 ・国土交通大臣表彰
92 号 (10 月 16 日 発行)	訪日インバウンドの主役は誰だ (株)JTB グローバルマーケティング&トラベル 代表取締役社長 座間 久徳 氏	ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー 2017 表彰式及び受賞者によるパネルディスカッションを開催	読売新聞東京本社 常務取締役 南 砂 氏	・「インバウンド業務入門」テキスト完成 ・中小企業団体助成金事業 ・添乗あれこれ ・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記
93 号 (2 月 7 日 発行)	インバウンド新時代の通訳案内士像を求めて 日本政府観光局 理事 小堀 守 氏	TCSA 主催「インバウンドセミナー」を開催	KNT-CT ホールディングス(株) 代表取締役社長 丸山 隆司 氏	・添乗員賠償制度 ・海外安全対策セミナーの開催 ・添乗あれこれ ・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記 ・運輸局長表彰